

徳島県東部第1サブ圏域



精神障がい者ファーストを目指して —安心して自分らしく暮らせる地域移行の推進—

県東部に位置する県都徳島市を中心に、人口、産業、交通、保健・医療・福祉などの機関が集積している圏域。

精神科病院の病床数をみると、県下全体の74%が本圏域に集中。常に、全国上位の推移をたどる精神科病院の平均在院日数や人口比の精神科病床数に反し、地域移行・地域定着支援の個別給付の利用者数は全国最下位レベルにある。

精神科治療に恵まれた？地域であるがゆえの、地域包括ケアシステムのあり方について、今後の推進が大きな課題となっている。

1 東部第1サブ圏域の基礎情報

基本情報

市町村数（H29年4月現在）	2市7町1村		
人口（H29年4月1日現在）	445,402人		
精神科病院の数（H27年6月末）	12病院		
精神科病床数（H27年6月末）	2,759床		
入院精神障害者数 （H27年6月末）	3か月未満：321人（13.6%）		
	3か月以上1年未満：249人（10.5%）		
	1年以上：1,793人（75.9%）		
	うち65歳未満：798人		
	うち65歳以上：995人		
退院率（H27年6月末）	入院後3か月時点：60.7%		
	入院後6か月時点：81.0%		
	入院後1年時点：87.7%		
相談支援事業所数（H28年10月）	基幹相談支援センター：0ヶ所		
	一般相談事業所数：19ヶ所		
	特定相談事業所数：40ヶ所		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年4月）	地域移行支援サービス：4人		
	地域定着支援サービス：1人		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（モデル圏域：徳島市障害者自立支援協議会）15回／年 内訳…定例会6回・課題検討会5回・全体会2回		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域	有・無	1カ所
	市町村 （自立支援協議会数）	有・無	5カ所

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

■ 徳島保健所の取り組み

（1）保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置

- 徳島保健所精神保健福祉連絡協議会
- 徳島保健所地域包括ケアシステム構築検討会
- 管内市町村精神保健福祉担当者連絡会議
- 徳島市障害者自立支援協議会

（2）ピアサポートの活用に係る事業

- ア 養成・フォローアップ研修
- イ ピアサポーターの活用に関する研修

（3）精神障がい者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業

- ア 地域移行関係職員研修会
- イ 精神障がい者地域サポート検討会



2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

■ 徳島保健所管内での取り組み

○市町村自立支援協議会

- ・ 専門部会として、地域移行支援部会や精神支援部会が立ち上がる
- ・ 公営住宅の保証人条件の緩和に向けた条例改正への働きかけ

○県自立支援協議会

- ・ 居住支援の専門部会を設置する方向で準備が始まる予定

○ピアサポーターの養成・活用

- ・ H24年度～ 保健所管内の精神科病院等でピアサポーターの養成、体験発表が開始。地域活動支援センターで当事者会が立ち上がり、勉強会等が始まる。
- ・ H27年度～ 板野郡と鳴門市の自立支援協議会が協同で、養成講座を開催

○調査研究「徳島で障がい者の暮らしを考える会

（大同生命厚生事業団「地域保健福祉研究助成事業」助成）」

- ・ 実施期間は、H28年10月～H29年9月
- ・ H25～27年度に徳島市自立支援協議会と連携し実施した「四国地区における住居確保に関するモデル活動研究会（日本更正保護協会助成）」を引き継ぐ
- ・ H29年2月「アパート体験利用事業」における説明会を開催
- ・ H29年4～6月「アパート体験利用事業」を実施
- ・ H29年8月「アパート体験利用事業」における報告会を開催

3 評価指標の設定状況

【徳島県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
協議の場の 設置状況 (設置自治体数)	18	18	19	22	24

【徳島県東部第1サブ圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
協議の場の 設置状況 (設置自治体数)	9	9	10	12	13

【設定理由（根拠）】

- 第5期障がい福祉計画と第7次保健医療計画の目標値

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

【構築検討会（戦略会議）】

○平成29年7月から月1回のペースで開催

○参加者：

密着AD、徳島市障害福祉課、徳島市委託障害者相談支援事業所、県精神保健福祉士協会、県健康増進課、県精神保健福祉センター、徳島保健所
（広域ADにはメールや電話にて進捗状況の報告と助言）

○目的：

地域の課題を明確にし、地域移行・地域定着の推進に向けた事業計画、包括ケアシステムの構築状況の評価などを検討する

⇒（今後の方向性）

- 徳島市自立支援協議会の専門部会立ち上げの橋渡しの役割を意識して、新たな関係者の参加呼びかけや議題などを検討していく。
- 新630調査の結果も加えて、地域の課題を分析
- 「地域包括ケアシステム構築支援事業」も含めた事業の計画

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

【徳島市障害者自立支援協議会】

○平成29年9月の課題検討会の場に出席

○参加者：

徳島市障害福祉課（課長他）、徳島市委託障害者相談支援事業所（4事業所）、
徳島保健所（所長他）

○内 容：

- ・精神障がい者に関する専門部会の設置状況（県内）や、すでに専門部会を立ち上げている協議会（保健所管内）から聞き取った発足経緯や検討内容について説明
- ・市協議会の中に、地域移行・地域定着を協議する新たな専門部会の設置を要望し、同時に意見交換を行った。

○結 果：

- ・専門部会の設置は、現行の協議会の開催要綱のままで問題ないこと確認
- ・ただ、業務量の負担増を心配する声が市障害福祉課（事務局）、委託障害者相談支援事業所からあがった。

⇒（後日談として）

「市としては、委託障害者相談支援事業所の協力同意が得られたら、全体会の場で専門部会の設置について図ることは可能。前向きに検討していく」との返事いただく。

5 現時点での課題・悩み

（事業の実施期間について）

- モデル障害福祉圏域である徳島市障害福祉協議会と、専門部会設置に向けた合意形成がなされておらず、今後の事業見通しが不透明
- 今後の事業スケジュールを組むに当たり、事業終了時期や予算的裏付け期間について、現時点での見通しを教えて欲しい。

（新630調査の活用について）

- 地域課題の分析についての活用方法が、今ひとつよく分からない。

（ピアカウンセラーの養成について）

- 国が定める養成プログラムはないと聞いているが、地域の基盤整備の目標値等で計上する際、どのような養成課程や活動をしているピアをあげたらよいか分からない。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた 平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. モデル圏域である徳島市障害者自立支援協議会において、地域移行に関する専門部会の設置に向けた合意形成を結ぶ
2. 精神科病院からの地域移行・地域定着を支援する体制の構築を図る

時期(月)	実施内容	担当(事務局)
H29年4月～H30年3月 H29年7月～H30年3月 H29年7月	徳島市自立支援協議会 徳島保健所地域包括ケアシステム構築検討会 管内市町村精神保健福祉担当者連絡会議	徳島市障害福祉課 徳島保健所 徳島保健所
H29年8月～12月 H29年9月～H30年2月	地域移行関係職員研修会(8病院) 当事者地域活動懇談会(6病院)	徳島保健所 徳島保健所
H29年12月 H29年12月	ピアサポーターの活用に関する研修 地域移行支援研修会	徳島保健所 精神保健福祉士協会・ 徳島県
H30年2月 H30年2月	ピアサポーターの養成研修 協議の場創設のための研修会	徳島保健所 精神保健福祉士協会・ 徳島県
H30年2月 H30年3月	徳島保健所精神保健福祉連絡協議会 精神障がい者地域サポート検討会	徳島保健所 徳島保健所